

県内企業景気動向調査報告（2021年4～6月期）

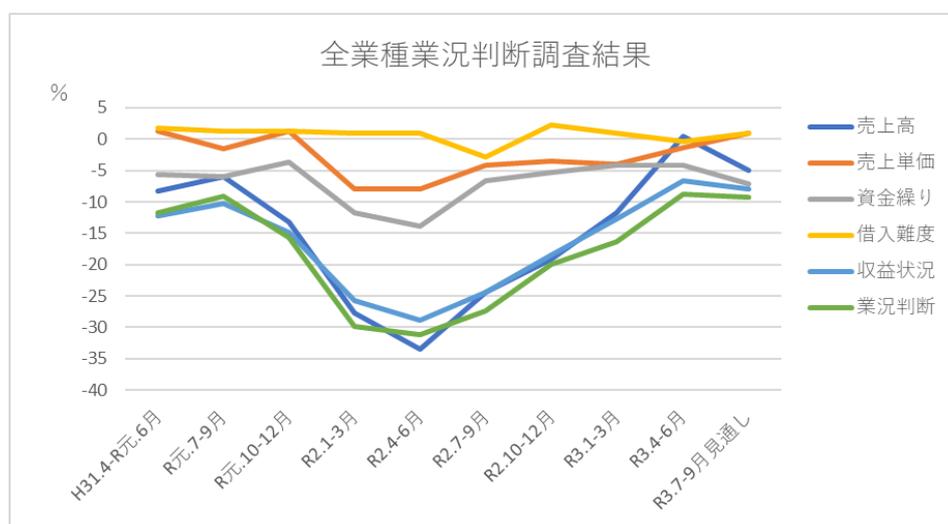
「売上高」「収益状況」「業況判断」は上昇傾向が続く

調査対象	鳥取県内企業（鳥取県下4商工会議所の調査による）
回収数	121社【製造業39社、非製造業82社（建設業24社、卸売業18社、小売業21社、サービス業19社）】

<今期・来期の状況>

全業種における今期の状況は、「業況判断」「売上高」「売上単価」「収益状況」の4つの項目で前期よりも上昇している。特に「売上高」は前期から12.2ポイントと大きく上昇した。「業況判断」については、前期の▲16.3から7.6ポイント上昇し、▲8.7となった。また、業種別の「業況判断」では、建設業を除く全ての業種で上昇傾向を示した。最も上昇が大きかったのはサービス業で、前期から18.5ポイントとなっている。

来期の見通しについては、「業況判断」「売上高」「資金繰り」「収益状況」の4つの項目で下降する見通しとなっており、「業況判断」では▲0.6ポイント、「売上高」では最も大きい▲4.6ポイントを示した。業種別の「業況判断」では、建設業で▲5.1ポイント、小売業で▲12.7ポイントと2業種で下降する見通しが示された。



前年同期比*()内2020.4～6月期の数字

来期見通し(2021.7～9期)*()内は前年同期の数字

	回収数	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断
全産業合計	121	0.4 (-33.4)	-1.3 (-7.9)	-4.2 (-13.9)	-0.4 (0.9)	-6.7 (-28.9)	-8.7 (-31.2)	-5.0 (-24.4)	0.9 (-5.0)	-7.2 (-9.6)	0.9 (-3.0)	-8.0 (-21.5)	-9.3 (-23.3)
製造業	39	15.4 (-37.2)	0.0 (-9.3)	-2.6 (-24.4)	-2.7 (-1.4)	-2.6 (-33.4)	-6.5 (-37.2)	7.7 (-23.1)	0.0 (-6.4)	-9.0 (-16.7)	-1.3 (-6.6)	-1.3 (-20.5)	-5.3 (-28.2)
非製造業	82	-6.7 (-31.6)	-1.9 (-7.3)	-5.0 (-9.0)	0.7 (1.9)	-8.7 (-26.8)	-9.8 (-28.3)	-11.1 (-25.0)	1.3 (-4.4)	-6.3 (-6.2)	2.0 (-1.3)	-11.2 (-22.0)	-11.3 (-21.0)
(建設業)	24	-18.8 (-26.9)	-6.3 (-3.9)	0.0 (-3.9)	0.0 (3.9)	-19.6 (-17.3)	-16.7 (-26.0)	-20.9 (-28.9)	-2.1 (-7.7)	-4.2 (-3.9)	0.0 (0.0)	-20.9 (-23.1)	-21.8 (-21.2)
(卸売業)	18	5.6 (-25.0)	0.0 (0.0)	-2.8 (0.0)	2.8 (5.6)	-2.8 (-25.0)	-5.6 (-25.0)	-5.6 (-26.5)	2.8 (3.0)	-2.8 (0.0)	2.8 (3.0)	-5.6 (-20.6)	-5.6 (-23.6)
(小売業)	21	-11.9 (-35.7)	0.0 (-15.0)	-7.2 (-19.1)	2.4 (-4.8)	-14.3 (-28.6)	-9.5 (-28.6)	-22.5 (-22.5)	0.0 (-10.5)	-7.5 (-10.0)	2.5 (-7.5)	-20.0 (-20.0)	-22.2 (-18.4)
(サービス業)	19	2.6 (-39.5)	0.0 (-10.5)	-11.1 (-13.2)	-3.0 (3.1)	5.3 (-39.5)	-5.3 (-34.2)	7.9 (-21.1)	5.3 (0.0)	-11.1 (-11.1)	3.2 (0.0)	5.3 (-23.7)	0.0 (-21.1)

BSI=1/2(X-Z)、X=上昇・増加、Y=横ばい、Z=減少・下降、ただし(X+Y+Z=100)

<直面している経営上の問題点>

- 1位：売上・受注の減少 (18.5%)
- 2位：消費・需要の停滞 (14.1%)
- 3位：原材料・仕入価格上昇 (10.6%)
- 4位：競争激化 (10.0%)
- 5位：人手不足 (9.4%)

<業種別の問題点等>

◆建設業

- ・公共土木工事の発注が鈍く、収益環境も厳しい状況。
- ・職域接種への迅速な対応を期待しています。

◆製造業

- ・誘致企業ではなく、鳥取資本の企業が成長できる対策を考えないと地域の活力が衰退してしまう。誘致企業は失敗したら撤退してしまうので、投下された税金が無駄になる。その責任は誰がとるのか。
- ・新型コロナウイルス感染症以外の助成金・補助金の充実をお願いしたい。
- ・鉄の価格が高騰しており、それに伴い様々な購入品の価格も高騰しています。いずれ自動車メーカーでもその問題が取り上げられ、社会問題になると予測しています。
- ・コロナの影響は大きい。主要得意先の売上半減以下。

◆小売業

- ・コロナの問題で先が見えません！給付金を増やしてほしい。申請手続きを簡単にしてほしい。

◆サービス業

- ・飲食業では感染者がでると人の動きが悪くなる(特に夜)。金融関係企業の外食禁止の影響がでている。個人的には単独での外食は良いのではないかと思う。
- ・前期4～6月期は全館休業。今期7～9月期は「GOTO」の再開延長、コロナ禍状況により不透明。よって、昨年コロナ発表以来、(補助・助成金除き)通常業績としては最悪である。
- ・夏休みに向かうこともあり、予約数は伸び始めています。ただ、旅館組合が行おうとしていた職域接種の予定が未定となり、ワクチン接種が滞りつつあります。